

温暖化により、集中豪雨が増加！

# がけ崩れや土石流に注意！

土砂災害の多くは、何日か続く長雨や、突然の集中豪雨等によって発生し、全国各地で被害が報告されています。平成26年8月には広島市で大規模な土砂災害が発生したことは記憶に新しいところです。土砂災害の被害を最小限に抑えるためには、3つのポイントがあります。

## ① 自宅周辺のがけや溪流を確認

住んでいる場所が、「土砂災害警戒区域」や「土砂災害危険箇所」であれば特に注意が必要です。市が各戸配布した土砂災害ハザードマップや県が公表している土砂災害情報ポータルを活用して、土砂災害の危険性のあるがけや溪流の位置を確認しましょう。また、避難経路を話し合うなど、一人一人が適切に避難できるよう、安全対策に取り組みましょう。

【神奈川県土砂災害情報ポータル】 ↓ ↓

<http://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/website/kanagawa/gis/index.html>

## ② 雨が降り出したら、土砂災害警戒情報に注意

土砂災害発生の危険が高まったときには、気象庁と県から「土砂災害警戒情報」が発表され、テレビやラジオなどでも放送されます。市はこの情報をもとに、避難勧告を発令しますので、情報を逃さないようにしましょう。

↓ 情報を得るには・・・

湘南ケーブルネットワーク（SCN）やテレビ神奈川（TVK）

SCN ⇒ 湘南チャンネル（デジタル003ch）を確認

TVK ⇒ リモコンの「データ放送ボタン（dボタン）」を押し、「マイタウン情報」を確認

ひらつか防災気象ウェブ（平塚市ホームページ）

雨量や水位の観測情報、ライブカメラ映像など、平塚市に特化した情報を発信しています。

⇒ <http://hiratsukacity.bosai.info/pinpoint/index.html>

「ほっとメールひらつか」（メール配信サービス） ※要事前登録

パソコン ⇒ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/common/000040543.pdf>

携帯電話 ⇒ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/common/000040544.pdf>

## ③ 早めの避難！

自宅に留まらざるを得ない場合は、がけから離れた部屋や、2階以上の部屋へ移動（垂直避難）しましょう。

市は、状況に応じて、小中学校などの避難所を開設します。また、避難所の開設までに至らない場合や自主避難の申し出があったときは、各公民館を開設します。

自主避難を希望する場合は、市（☎23-1111 代表）へご連絡ください。



## 土砂災害発生の前兆

# こんな現象には、要注意！

### 土石流



- 川の水の異常な濁り
- 転石の音
- 流木の発生
- 土臭いにおい
- 地鳴り
- 川の水位の激減

### がけ崩れ



- がけから小石が落下
- 湧水の濁り、停止、噴出
- がけに亀裂の発生
- 地鳴り

### 地すべり



- 井戸水の濁り
- 池や沼の水かさの急変
- 地面に亀裂や段差の発生
- 樹木が傾く
- 地鳴り山鳴りの発生
- 地面の振動

前兆現象等により危険を感じたら、  
自ら早めに避難！

安全を確保した後、市に連絡をお願いします。

発行：平塚市災害対策課 電話23-1111（代表）